



地域と『むすぶ』

7月に入り、気候は夏へと変わっていく時期になりました。暑さも日に日に増していますが、校内には子どもたちの元気いっぱいの声が響いています。

先日行われた学校公開には、多くの保護者、地域の方々に、子どもたちのがんばる姿を見ていただくことができました。4月の入学・進級時から比べて、子どもたちは一段と成長し、それぞれの取組に向かう姿が見られ、私たち教職員も改めて、日々の教育活動の積み上げの大切さを再確認することができました。皆様の温かい応援が、子どもたちの自信や意欲に繋がっていることを感じ、大変嬉しく思っております。

また、地域のボランティアの方々(YB)の御協力がますます増えてきていることを感謝申し上げます。ボランティアの皆様には、子どもたちとのふれあいやボランティア活動を通して、特別支援教育への理解を深めていただいています。地域との交流は、子どもたちにとっても大きな学びとなり、社会とのつながりを感じる貴重な機会となっています。今後も多くの方々に関わっていただき、特別支援教育への理解を広げていきたいと考えております。

夏休みが近づいておりますが、子どもたちが安全に、そして楽しく過ごせるよう、御家庭でも健康管理や安全対策をお願い申し上げます。

校長 江口 直美

わくわくスポーツ祭



6月21日(金)は、小学部の学校公開で『わくわくスポーツ祭』を実施し、保護者のみなさまや地域の方々に子ども達が一生懸命に取り組む姿を御覧いただきました。低学年は『サーキット』、中学年は『虹色タオロード・ボウリング』、高学年は『ビッグオセロ・大玉転がし』、小学部全員で『玉入れ・小学部ダンス』に取り組みました。周りの友だちや保護者のみなさまからの温かい声援を受けて、これまで練習してきた成果を発表することができました。自分自身の発表だけでは無く、友だちに「がんばれ!!」と声援を送る姿もとても素敵でした。

また、5年生は会場の飾りづくりをしたり司会進行をしたりするなど、高学年として学部のために活躍する姿がとても立派でした。これからも高学年が中心となって活躍する機会がたくさんあるので、今後の活躍も随時お伝えしていきます。

こまちサロン

／各学部毎に開催中／

「こまちサロン」は、生涯学習と共生社会の推進を目的として、地域の方々が参加し、様々な活動を通じて学びや交流を楽しむ場です。1Fエントランスにあるオープンな空間、「図書ラウンジ」を利用して昼休みに開催されています。今年度は学部ごとに9回、合計27回の計画で、わらべうた、朗読、読み聞かせ、合唱、楽器演奏、日本舞踊、スローエアロビック等、多岐にわたる内容が予定されています。

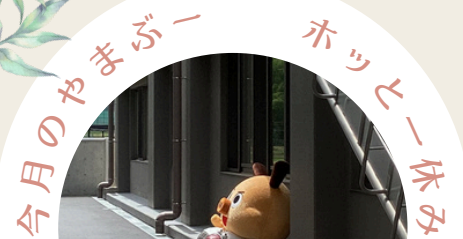
「こまちサロン」は、子どもたちにとって貴重な経験の機会であり、地域社会と学校の連携を深め、共生の理念を実現する大切な取組となっています。



☆わくわくWORK☆

今月のお仕事紹介はYB（やまぶきボランティア）です。本校の教育はYBなしには語れないくらいに支えられています。今回はその様子をお伝えします。

図書ラウンジに入った新しい本にカバーをつけていただいたり、給食の後片付けを手伝っていただいたり、授業の準備を手伝ってもらったりしています。是非HPからYBの登録よろしくお願いします。



今月のやまぶー

ホッターキミ